

## 第2章 本市のスポーツに関する現状と課題

### 1 市民のスポーツ実施状況・スポーツに関する意識

#### (1) 調査概要

##### 【調査期間】

成人：令和3年11月19日～12月10日

中高生：同上

##### 【調査方法】

成人：郵送配布・回収、インターネット回答による回収

中高生：学校を通じた配布・回収

##### 【調査対象】

成人：市内在住の20歳以上 4,000名（無作為抽出）

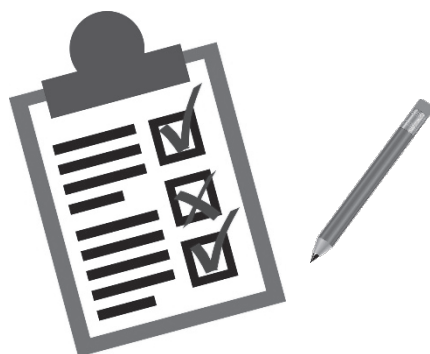
中高生：市内在住の中学2年生・高校2年生 483名

[内訳] 中学生（市内8中学校の2年生 各1クラス） 283名

高校生（市内5高校の2年生 各40名） 200名

##### 【回収結果】 ※（ ）内はH25調査実績

	配布数	回収数	回収率
成人	4,000	1,706	42.7%
	(4,000)	(1,549)	(38.7%)
中高生	483	483	100.0%
	(480)	(480)	(100.0%)



## (2) 調査結果

### 《するスポーツについて》

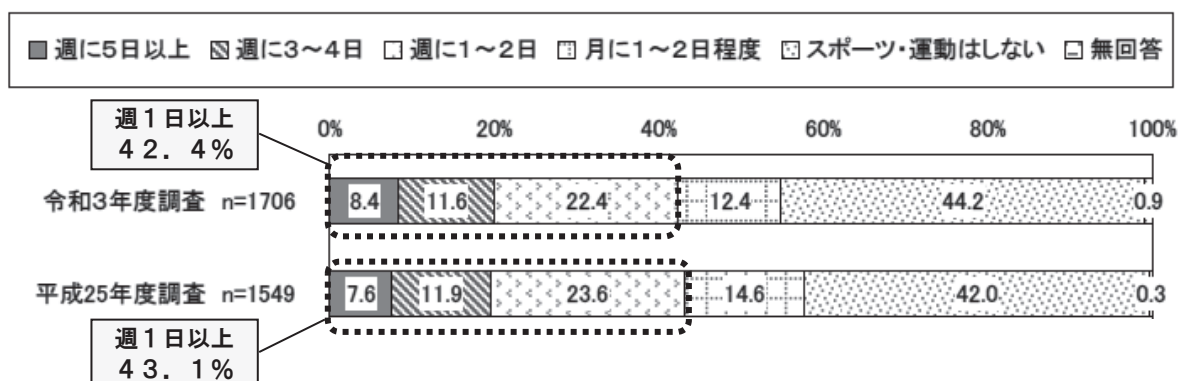
#### ①スポーツ実施率〈単数回答〉

週1日以上スポーツを実施している人の割合は、成人で42.4（前回：43.1）%、中高生で77.9（前回：76.4）%となっています。

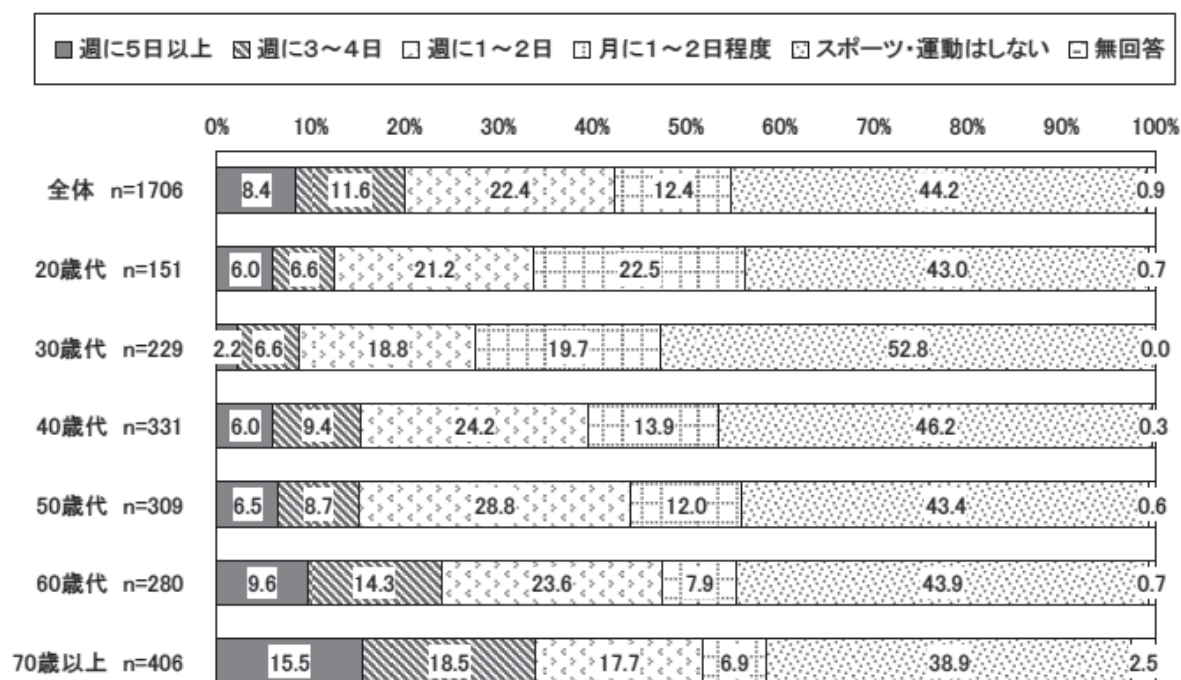
年齢別にみると、30歳代を中心に、20歳代～40歳代の割合が低くなっています。

◆図表 1-1 スポーツ実施率

#### 【成人】



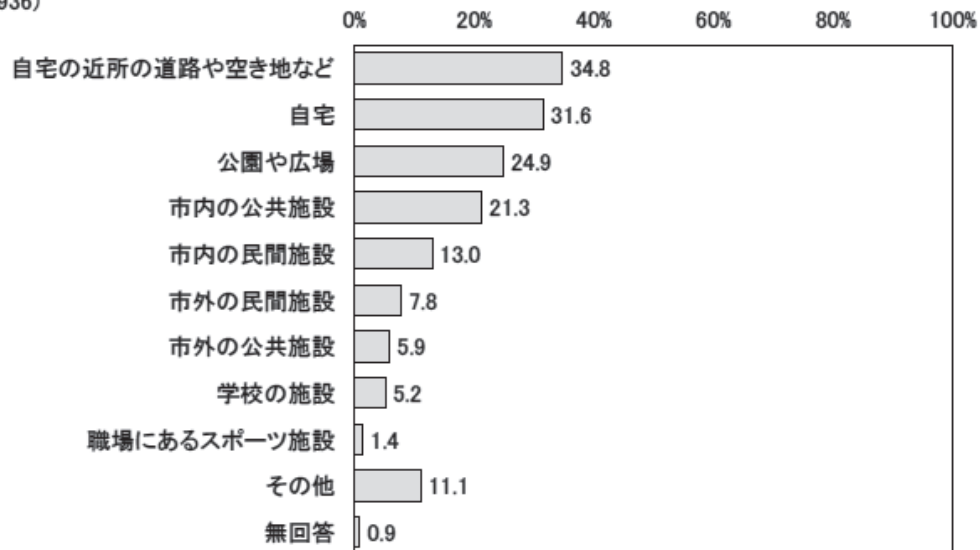
#### 【年齢別（成人）】



②スポーツをしている場所〈複数回答〉※月1～2日以上スポーツ・運動をする人  
 「自宅の近所の道路や空き地など」が34.8（前回：31.4）%と最も高く、次いで、「自宅」が31.6（前回：「市内の公共施設」30.4）%となっています。

◆図表 1-2 スポーツをしている場所

(n=936)



【その他の回答】

海、川、公道、ゴルフ場・ゴルフ練習場、職場、サイクリングロード、スーパー銭湯、スポーツジム・フィットネスジム（カーブス等）、釣り場、山、友人の家、老人保健施設



### ③実施している種目（上位10種目）〈複数回答〉

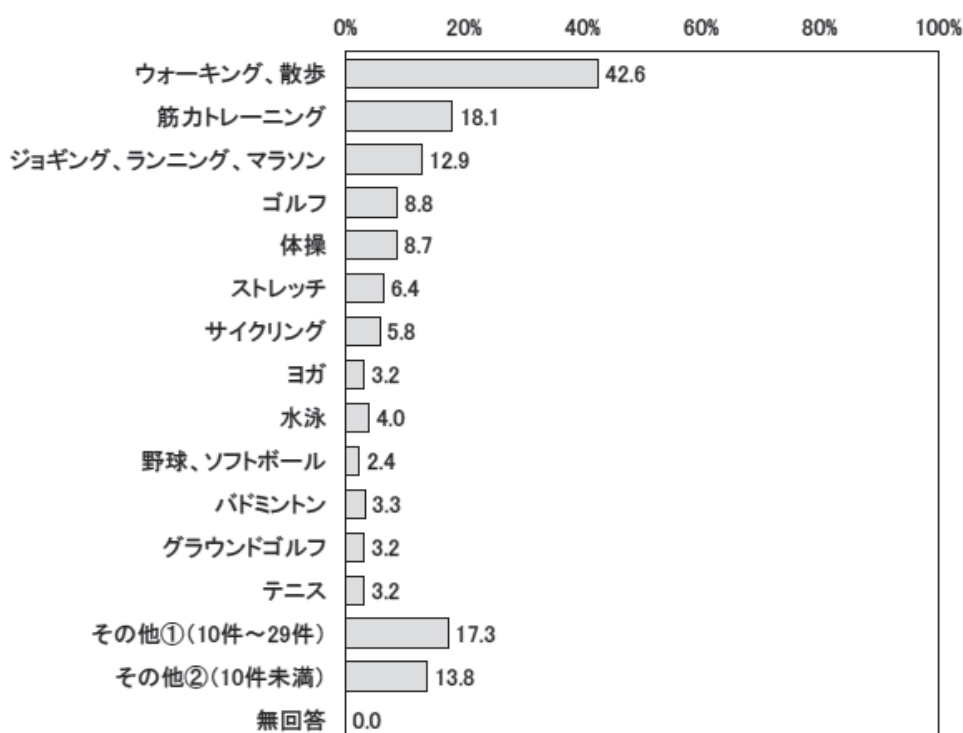
※月1～2日以上スポーツ・運動をする人

実施している種目は「ウォーキング、散歩」が42.6（前回：33.7）%と最も高く、次いで「筋力トレーニング」「ジョギング、ランニング、マラソン」（前回：「ランニング・ジョギング」「ゴルフ」）となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「ウォーキング、散歩」がそれぞれ41.5（前回：32.3）%、43.5（前回：35.3）%と最も高く、次いで、男性で「筋力トレーニング」「ジョギング、ランニング、マラソン」（前回：「ゴルフ」「ランニング・ジョギング」）、女性で「筋力トレーニング」「体操」（前回：「ヨガ」「ストレッチ」）となっており、気軽に一人でも行うことができる種目の割合が高くなっています。

◆図表 1-3 実施している種目

(n=936)



#### 【その他①の回答】

卓球、ダンス、登山、ハイキング、トレッキング、スポーツジム等での運動、パレーボール、サッカー、太極拳、ゲームのフィットネス、フットサル、エアロビクス、仕事による運動

#### 【その他②の回答】

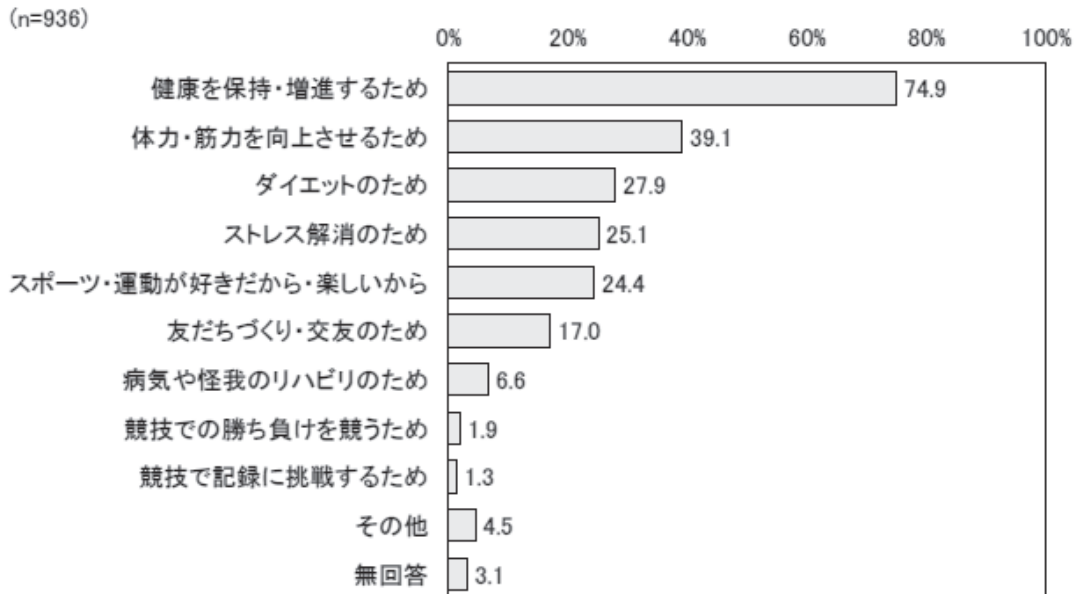
バスケットボール、エクササイズ、縄跳び、ボウリング、有酸素運動、エアロバイク、フットベースボール、キャッチボール、サーフィン、釣り、空手、自彊術、スケートボード、スノーボード、リハビリテーション、鬼ごっこ、ハンドボール、ポッチャ、剣道、鉄棒、ドッジボール、ピラティス、吹矢、陸上競技、カーリング、カローリング、気功、キックボクシング、弓道、クライミング、ゲートボール、ジャンプ、乗馬、スキー、スキューバダイビング、太鼓、竹馬、トランポリン、バトントワーリング、バレエ、ビリヤード、ボール投げ、マッサージャー、モータースポーツ、ヨット

#### ④スポーツを行っている理由〈複数回答〉

※月1～2日以上スポーツ・運動をする人

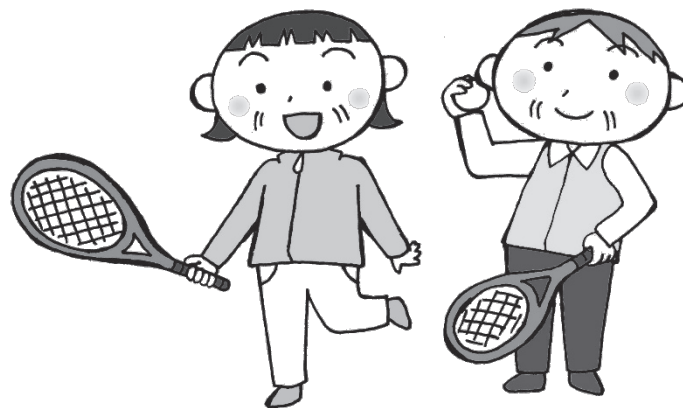
「健康を保持・増進するため」が74.9（前回：69.4）%と最も高く、次いで、「体力・筋力を向上させるため」が39.1（前回：30.1）%、「ダイエットのため」が27.9（前回：「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」29.3）%となっています。

◆図表 1-4 スポーツを行っている理由



#### 【その他の回答】

ボランティアのため、子どもと一緒にするため、仕事のため、健康マイレージに参加しているため、趣味、指導をするため

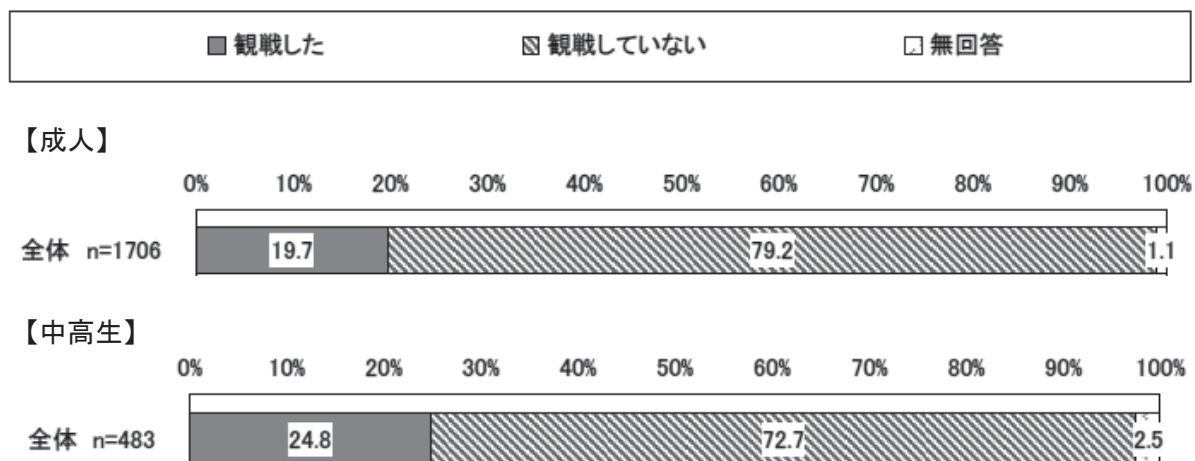


## 《みるスポーツについて》

### ①スポーツ観戦率と観戦した種目〈単数回答〉

過去1年間のスポーツ観戦率（テレビ観戦は含めない）は、成人で19.7（前回：36.0）%、中高生で24.8（前回：35.2）%となっています。種目は、成人、中高生ともに「野球」「サッカー」の割合が高くなっています。

◆図表 1-5 スポーツ観戦率



◆図表 1-6 観戦した種目

【成人】	
N=336	(全体)%
野球	44.6
サッカー	28.3
ソフトボール	15.2
バスケットボール	13.1
ゴルフ	6.5
バレーボール	6.3
オリンピック	5.4
テニス	5.4
卓球	4.8
相撲	3.3
水泳	3.3
柔道	2.7
その他	23.2

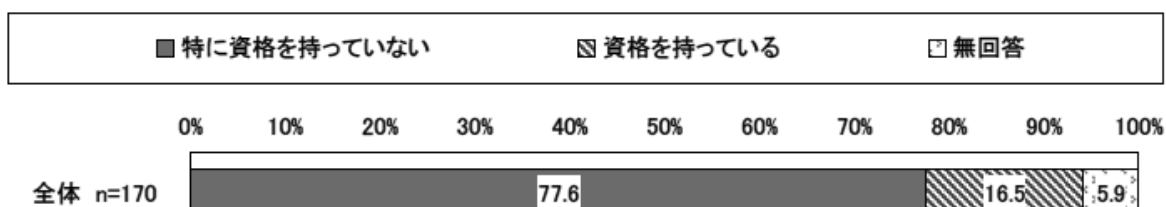
【中高生】	
N=120	(全体)%
野球	30.0
サッカー	28.3
バスケットボール	16.7
バレーボール	10.8
ソフトボール	9.2
卓球	5.0
その他	5.8
無回答	21.7

## 《おしえるスポーツについて》

### ①スポーツ指導者の資格保有率〈単数回答〉

「特に資格を持っていない」が77.6（前回：66.5）%となっており、資格を持たずにスポーツ指導を行っているケースが多いことがうかがえます。

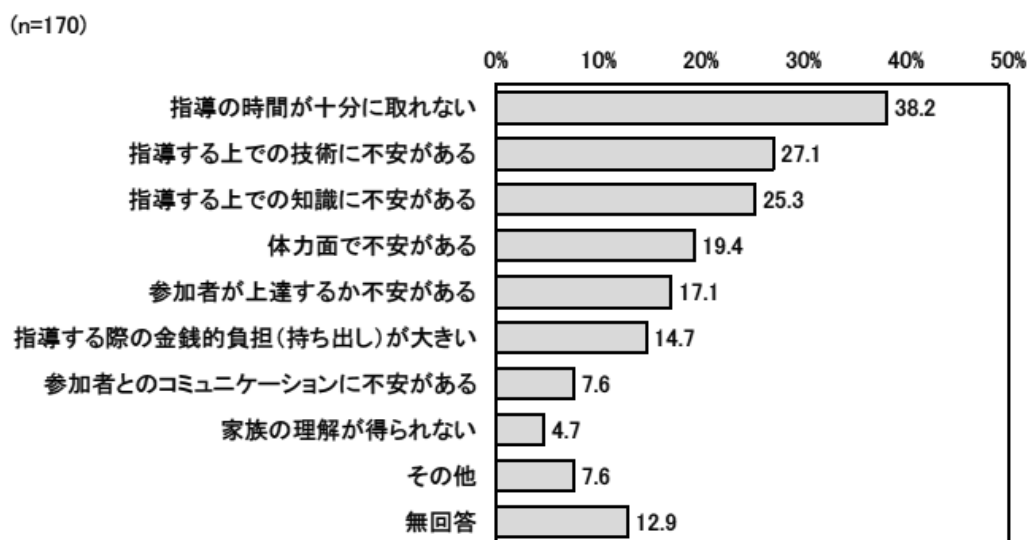
◆図表 1-7 スポーツ指導者の資格保有率



### ②スポーツ指導者の抱えている問題点〈複数回答〉

「指導の時間が十分に取れない」が38.2（前回：36.5）%と最も高く、次いで、「指導する上での技術に不安がある」が27.1（前回：26.4）%、「指導する上での知識に不安がある」が25.3（前回：24.9）%となっています。自分自身の資質に不安を抱えている様子がうかがえます。

◆図表 1-8 スポーツ指導者の抱えている問題点



#### 【その他の回答】

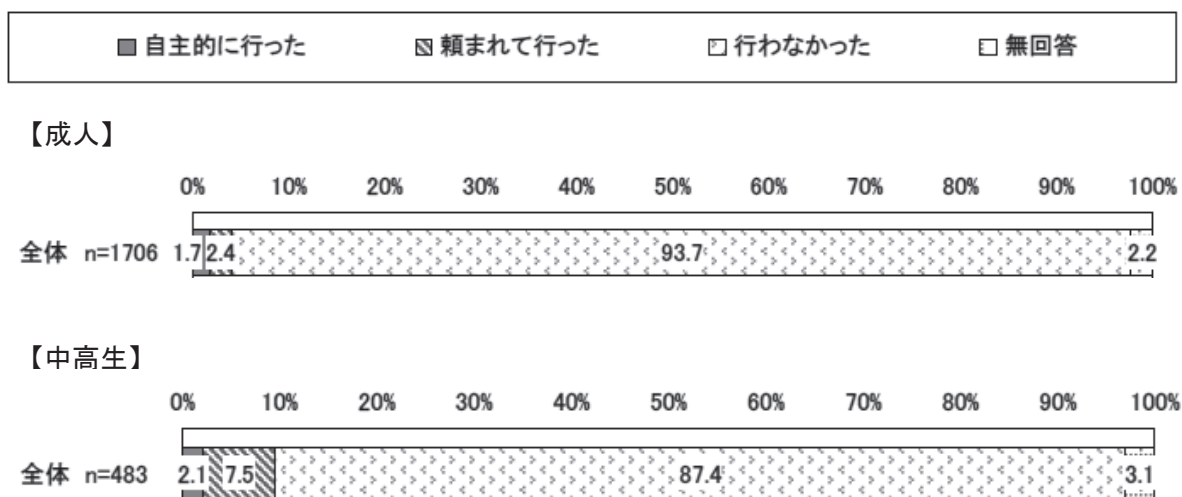
一緒に指導をする人が少ない、活動日が多い、「競技・勝ち負け」を優先するカテゴリーと「楽しむこと」を優先としたカテゴリーがあると指導しやすい、興味ある人に情報が伝わっていかない、参加者が高齢化し若い人が入らないためサークルの存続が心配、指導者同士の考えが合わない

## 《ささえるスポーツについて》

### ①スポーツボランティア実施率〈単数回答〉

過去1年間のスポーツボランティア実施率は、成人で4.1（前回：7.4）%、中高生で9.6（前回：14.6）%となっています。成人・中高生ともに、スポーツ庁の令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の9.7%に比べて低くなっています。

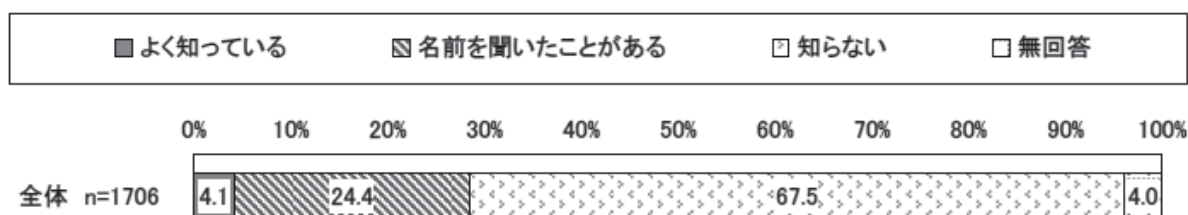
◆図表 1-9 スポーツボランティア実施率



### ②スポーツ推進委員の認知度〈単数回答〉

スポーツ推進委員の認知度は、「知っている」が4.1（前回：15.0）%、「名前を聞いたことがある」が24.4（前回：29.5）%となっています。

◆図表 1-10 スポーツ推進委員の認知度





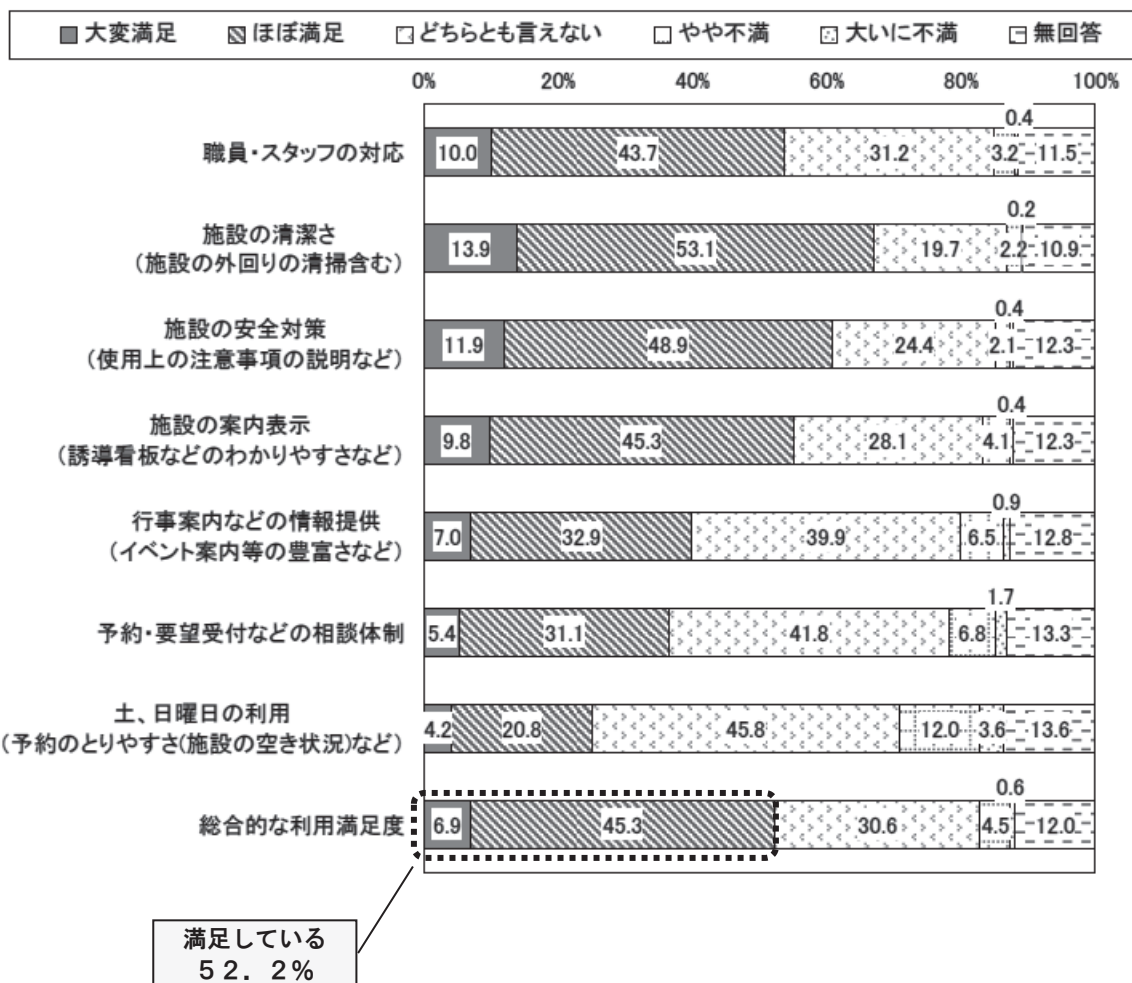
## 《スポーツ施設環境について》

### ①総合運動公園内スポーツ施設の利用満足度〈単数回答〉

総合運動公園内スポーツ施設の総合的な利用満足度は52.2（前回：43.8）%となっています。「土、日曜日の利用」「予約・要望受付などの相談体制」の満足度が低くなっています。

◆図表 1-11 利用満足度(総合運動公園内スポーツ施設)

(n=814)

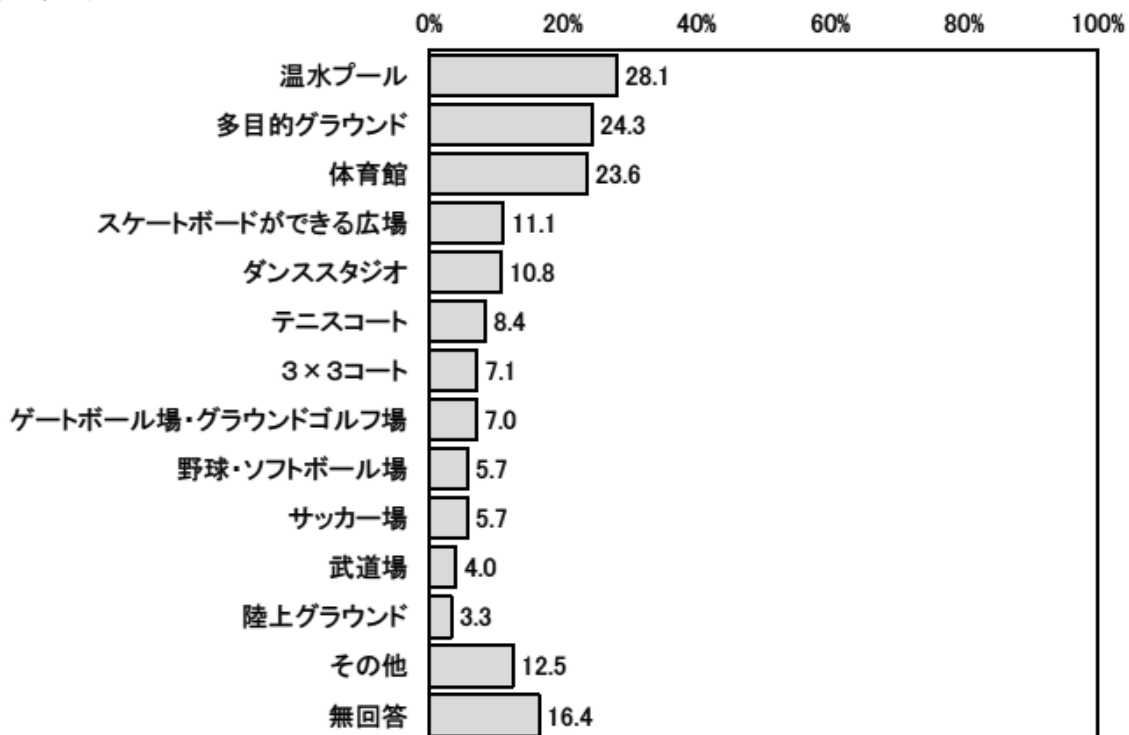


②今後、新設または増設してほしいスポーツ施設〈複数回答〉

「温水プール」が28.1（前回：31.5）%と最も高く、次いで、「多目的グラウンド」が24.3（前回：23.4）%となっています。

◆図表 1-12 今後、新設または増設してほしいスポーツ施設

(n=1,706)

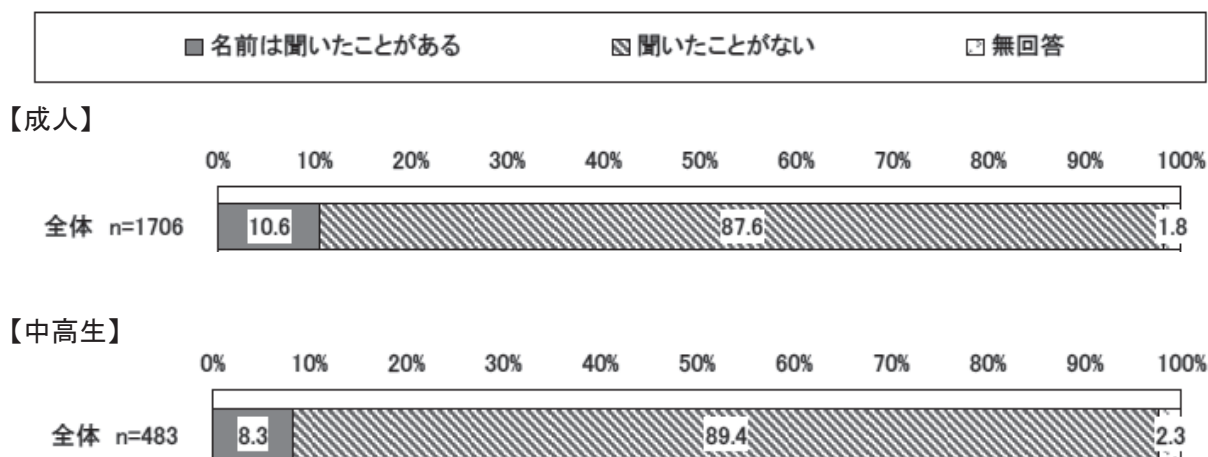


《スポーツ団体について》

①総合型地域スポーツクラブの認知度〈単数回答〉

総合型地域スポーツクラブの認知度は、成人で10.6（前回：9.9）%、中高生で8.3（前回：8.5）%となっており、認知度が低い状況となっています。

◆図表 1-13 総合型地域スポーツクラブの認知度

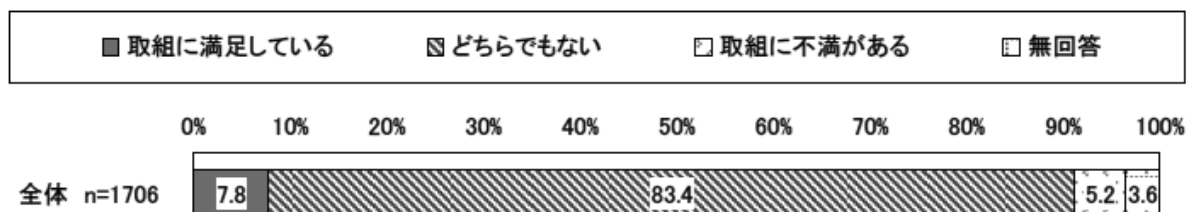


## 《スポーツ施策について》

### ①市のスポーツ施策の満足度〈単数回答〉

「どちらでもない」が83.4（前回：79.0）%となっており、スポーツ施策に関心が持たれていない様子が見えます。

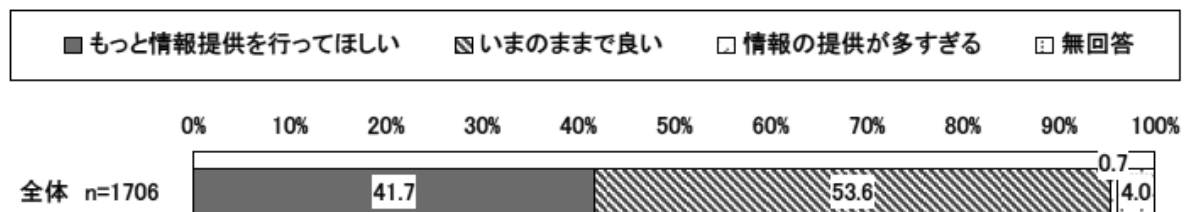
◆図表 1-14 市のスポーツ施策の満足度



### ②市のスポーツに関する広報・情報提供は十分だと思うか〈単数回答〉

「いまのままで良い」が53.6%、「もっと情報提供を行ってほしい」が41.7%となっています（前回：「もっと情報提供を行ってほしい」46.3%、「いまのままで良い」44.6%）。

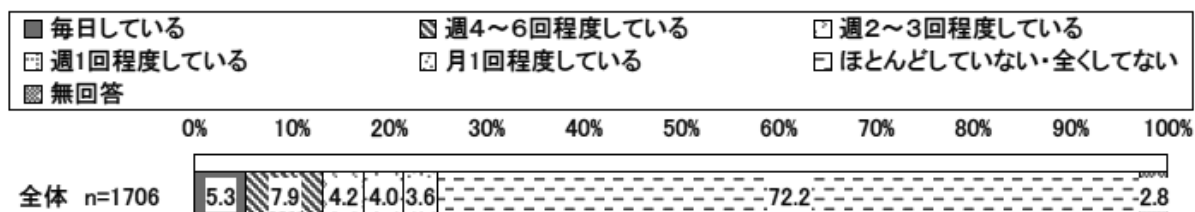
◆図表 1-15 市のスポーツに関する広報・情報提供について



### ③ラジオ体操の頻度〈単数回答〉

成人の週1回以上のラジオ体操の実施率は、21.4%となっています。

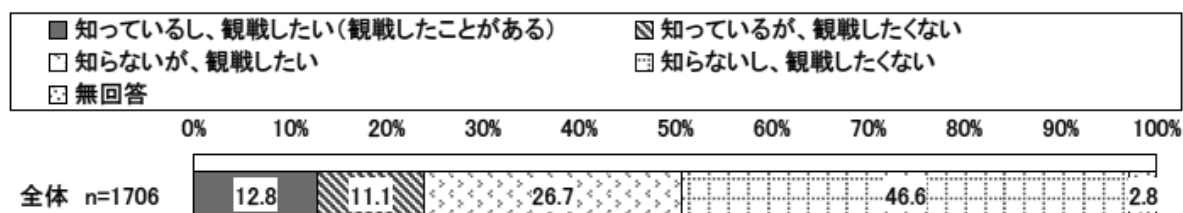
◆図表 1-16 ラジオ体操の頻度



④全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）の認知度と観戦意向〈単数回答〉

「知っているし、観戦したい」が12.8%、「知っているが、観戦したくない」が11.1%、「知らないが、観戦したい」が26.7%、「知らないし、観戦したくない」が46.6%となっています。

◆図表 1-17 全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）の認知度と観戦意向



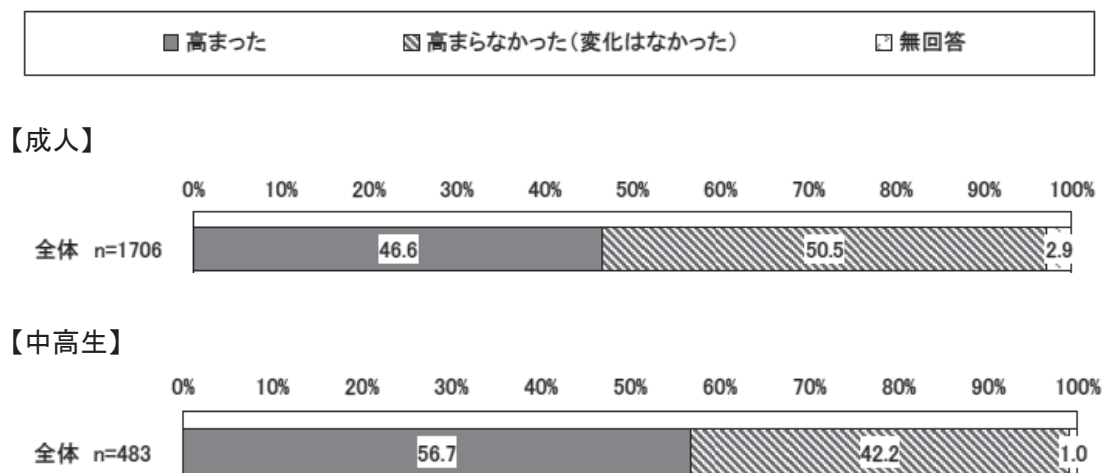
《オリンピック・パラリンピック、アジア競技大会について》

①東京2020オリンピック・パラリンピック開催を通じたスポーツに対する関心の高まり〈単数回答〉

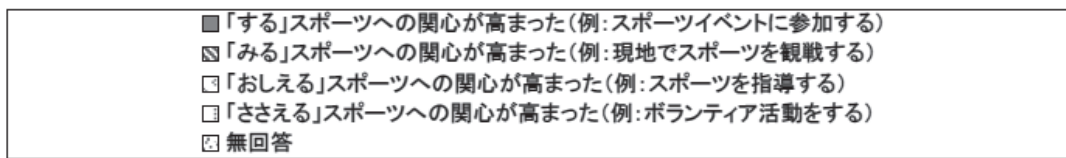
関心が高まった人の割合は、成人で46.6%、中高生で56.7%となっています。

東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じて関心の高まったスポーツについて、成人では「みる」スポーツが最も多くなっています。年齢別にみると、いずれの年代でも「みる」スポーツが最も多くなっていますが、20歳代から40歳代の若い年齢層では「する」スポーツが3割程度と比較的多く回答されています。

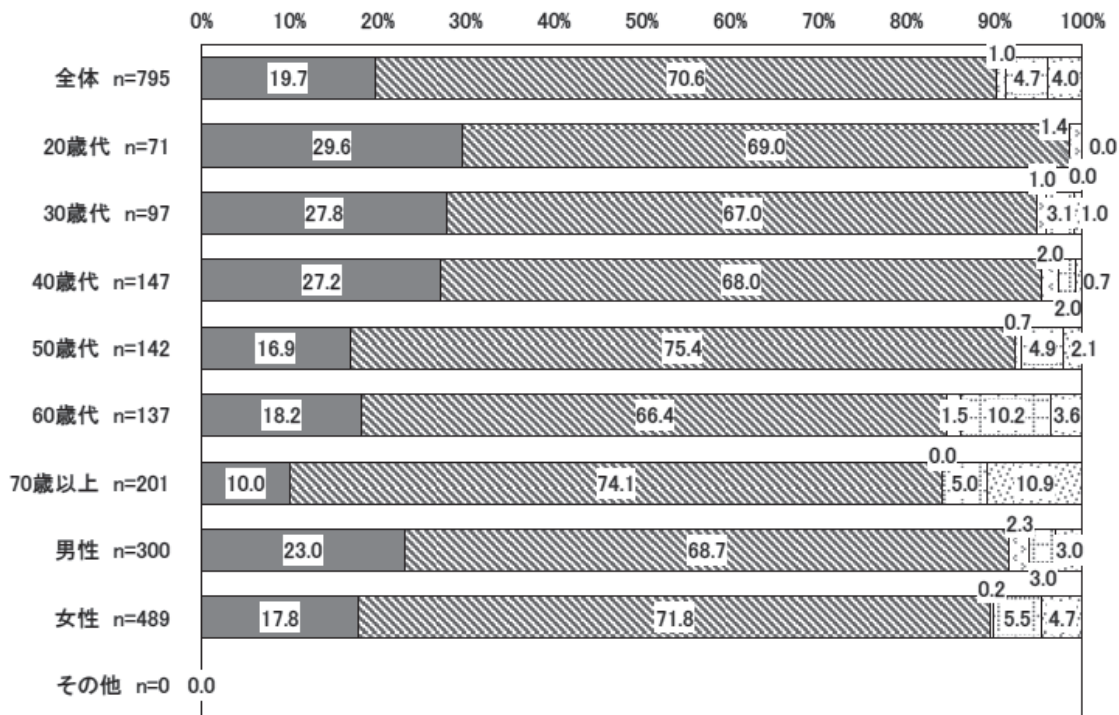
◆図表 1-18 東京2020オリンピック・パラリンピック開催を通じたスポーツに対する関心の高まり



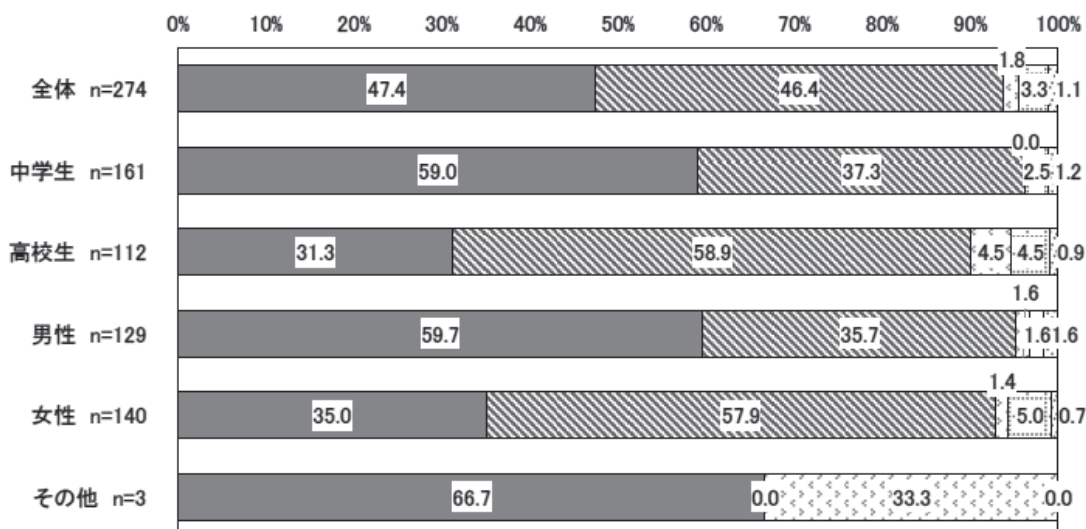
◆図表 1-19 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催を通じ関心の高まったスポーツ



【成人】



【中高生】

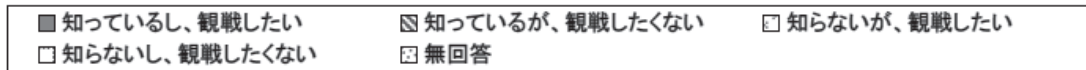


②第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）の認知度と観戦意向〈単数回答〉

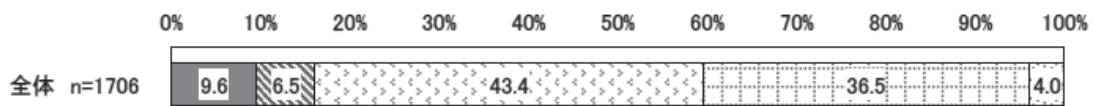
「知っているし、観戦したい」と「知っているが、観戦したくない」を合わせた『知っている』の回答は、成人で16.1%、中高生で14.5%となっています。

また、「知っているし、観戦したい」と「知らないが、観戦したい」を合わせた『観戦したい』の回答は、成人で53.0%、中高生で57.4%となっています。

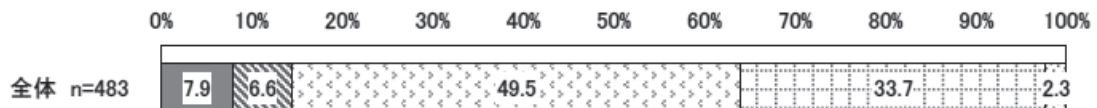
◆図表 1-20 第20回アジア競技大会(2026／愛知・名古屋)の認知度と観戦意向



【成人】



【中高生】



## 2 主なスポーツに関する現状

### (1) 子どもの体力・運動能力

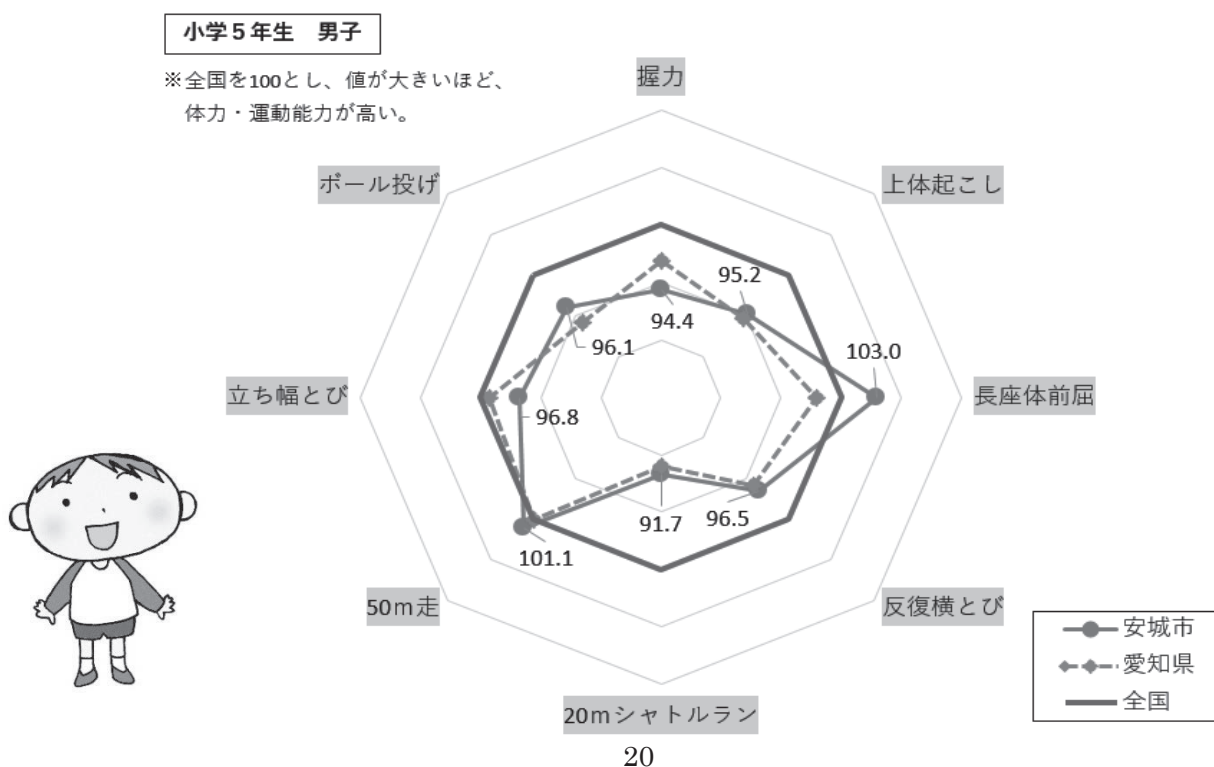
令和3年度に実施された小中学生の体力テストの結果によると、本市の結果は一部の種目で県・全国の平均値を上回っていますが、全体的には、県・全国の平均値を下回っている種目が多くなっています。なお、県の結果は、中学生女子以外が全国の中で最低となっており、国においては、特に小中学生男子の結果が平成20年度の調査開始以来過去最低となっています。スポーツ庁では、コロナ禍の影響で、運動時間の減少やスクリーンタイム（テレビ、スマートフォン、ゲーム機などによる映像の視聴時間）の増加に拍車がかかったことが原因だと考えられるとしています。

◆図表 2-1 体力テストの結果(安城市・愛知県・全国:小学5年生 男子)

小学5年生男子	【安城市】		【愛知県】		【全国】	
	H26	R3	H26	R3	H26	R3
握力(kg)	15.6	15.3	15.8	15.7	16.6	16.2
上体起こし(回)	17.6	18.0	18.3	17.9	19.6	18.9
長座体前屈(cm)	34.1	34.5	32.4	32.8	32.9	33.5
反復横とび(点)	40.0	39.0	40.3	38.7	41.6	40.4
20mシャトルラン(回)	44.9	43.0	46.9	42.7	51.7	46.9
50m走(秒)	9.5	9.6	9.4	9.5	9.4	9.5
立ち幅とび(cm)	149.9	146.6	151.1	150.3	151.7	151.4
ボール投げ(m)	23.2	19.8	22.1	19.4	22.9	20.6

資料：令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

#### (R3結果グラフ)

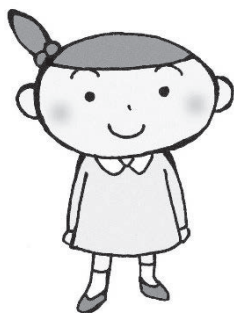


◆図表 2-2 体カテストの結果(安城市・愛知県・全国:小学5年生 女子)

小学5年生女子	【安城市】		【愛知県】		【全国】	
	H26	R3	H26	R3	H26	R3
握力(kg)	14.9	14.9	15.4	15.7	16.1	16.1
上体起こし(回)	17.0	16.8	17.1	17.1	18.3	18.1
長座体前屈(cm)	38.7	39.0	36.8	37.2	37.2	37.9
反復横とび(点)	36.2	36.5	38.2	37.1	39.4	38.7
20mシャトルラン(回)	33.4	33.3	36.5	34.6	40.3	38.2
50m走(秒)	9.6	9.7	9.6	9.7	9.6	9.6
立ち幅とび(cm)	140.9	141.0	145.1	145.3	144.8	145.2
ボール投げ(m)	13.5	12.9	13.5	12.6	13.9	13.3

資料：令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

(R3結果グラフ)



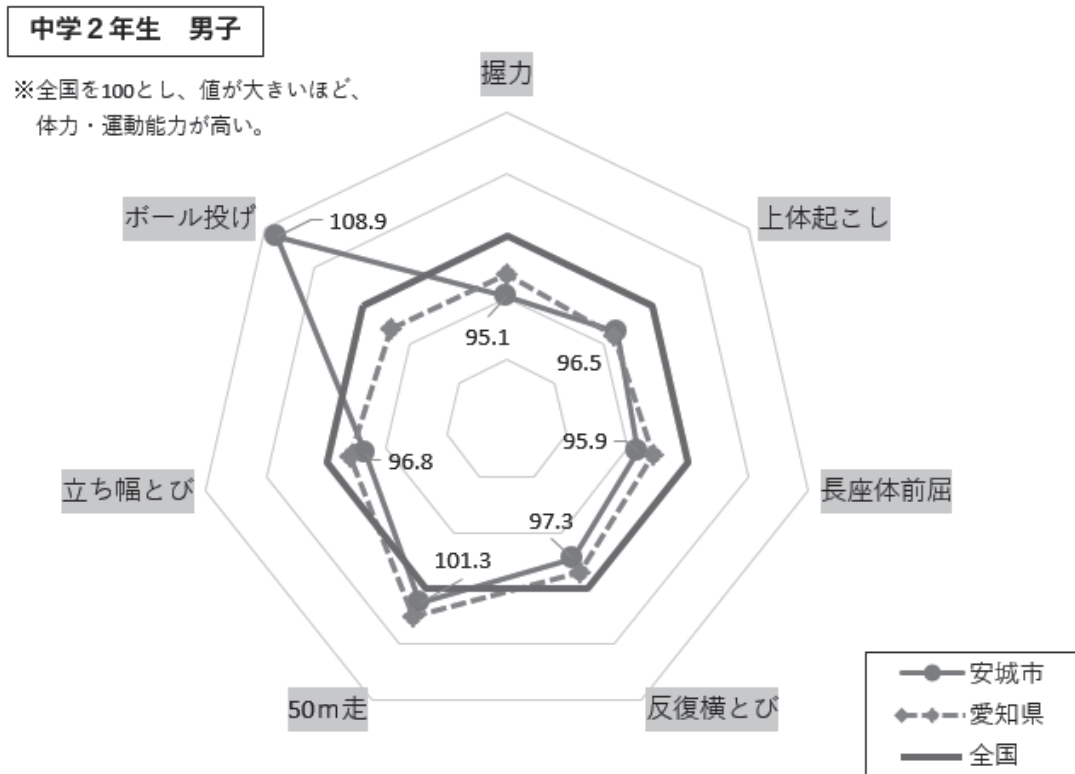


◆図表 2-3 体カテストの結果(安城市・愛知県・全国:中学2年生 男子)

中学2年生男子	【安城市】		【愛知県】		【全国】	
	H26	R3	H26	R3	H26	R3
握力(kg)	27.4	27.4	28.2	27.9	29.0	28.8
上体起こし(回)	27.0	25.0	27.2	24.9	27.4	25.9
長座体前屈(cm)	42.8	41.8	42.9	42.4	42.9	43.6
反復横とび(点)	51.6	49.8	51.4	50.5	51.3	51.2
50m走(秒)	8.3	8.1	8.1	8.2	8.0	8.0
立ち幅とび(cm)	186.5	190.0	191.5	192.4	193.4	196.3
ボール投げ(m)	21.5	22.0	20.7	19.6	20.8	20.2

資料：令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

(R3結果グラフ)

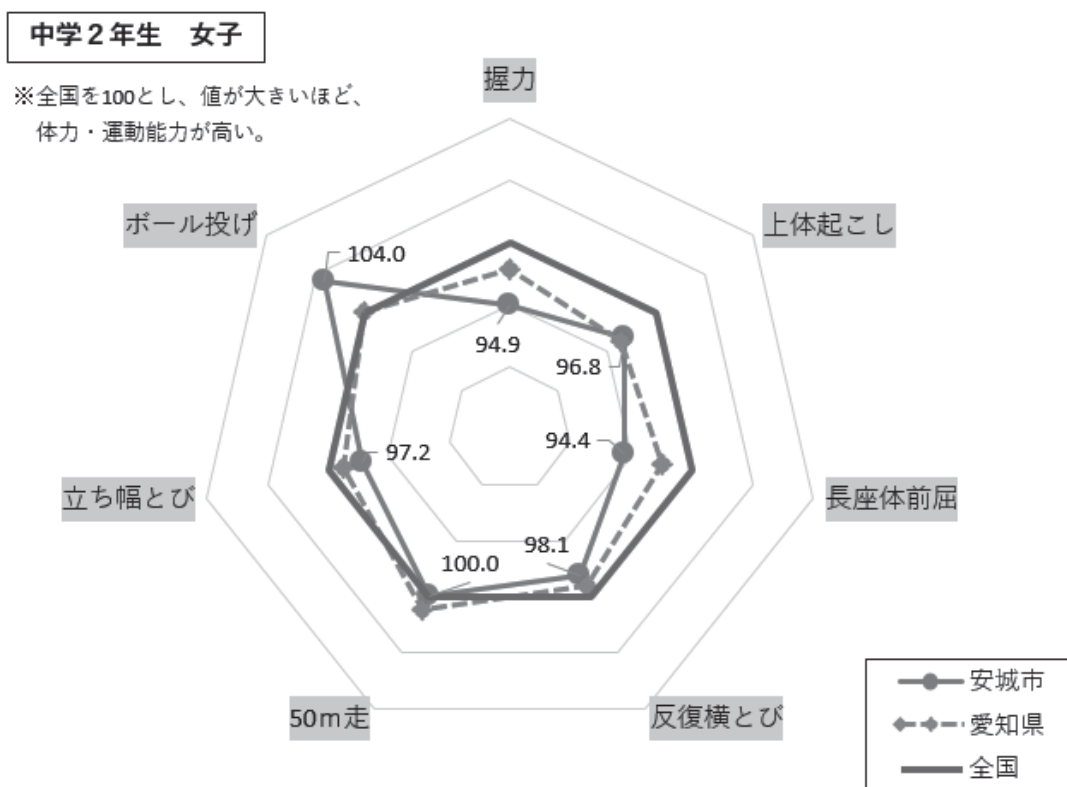


◆図表 2-4 体力テストの結果(安城市・愛知県・全国:中学2年生 女子)

中学2年生女子	【安城市】		【愛知県】		【全国】	
	H26	R3	H26	R3	H26	R3
握力(kg)	22.6	22.2	23.5	22.9	23.7	23.4
上体起こし(回)	22.8	21.5	23.4	21.4	23.0	22.2
長座体前屈(cm)	46.1	43.6	45.3	45.1	45.3	46.2
反復横とび(点)	46.1	45.4	46.3	45.9	45.6	46.3
50m走(秒)	9.0	8.9	8.9	9.0	8.9	8.9
立ち幅とび(cm)	161.3	163.3	166.9	166.0	166.5	168.0
ボール投げ(m)	14.2	13.1	13.2	12.6	12.8	12.6

資料：令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

(R3結果グラフ)



## (2) 市主要スポーツ事業の参加者数

令和元年度までは数値が順調に推移していましたが、令和2年度以降については、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業の中止や変更を余儀なくされ、全体を通して数値が大幅に減っています。

◆図表 2-5 市主要スポーツ事業の参加者数 (人)

イベント・大会名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
スポーツスクール(人)	1,125	432	833
おはよう！ふれあいラジオ体操会(人)	33,917	26,375 ※1	15,203
(一日あたりの最高人数)(人)	(7,676)	(1,506)	(2,876)
安城シティマラソン(人)	2,856	585	0
安城市民デンパーク駅伝大会(人)	1,611	※2	※5
(参加チーム数)(チーム)	(271)		
市民地域スポーツ交流会(人)	2,782	622	779
地域スポーツ振興事業(人)	7,050	1,964	2,670
歩け・ランニング運動(人)	7,861	4,739	6,908
安城選手権大会夏季水泳競技会(人)	311	119	147
安城選手権大会秋季競技会(人)	3,649	2,002	0 ※6
安城選手権大会冬季スキー競技会(人)	0 ※3	0 ※3	0 ※3
日本リーグ(ソフトボール、バスケットボール) (観戦者)	7,488	1,007	3,900
全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)(観戦者)	12,770	5,949 ※4	7,038
その他スポーツ事業	8,579	1,622	3,262
合計	89,999	45,416	40,740

資料：スポーツ課

※1…体操会は中止したが、自主的にラジオ体操を実施した団体からの実績報告をカウント。

※2…代替イベント「金哲彦のレッツ・ラントレ！」の参加者数。

※3…令和元年度は雪不足、2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

※4…代替大会「全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会」の観戦者数。

※5…マラソン、駅伝ともに新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

※6…新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

### (3) スポーツボランティアの状況

スポーツボランティアの参加者数は、「安城シティマラソン」と「安城市民デンパーク駅伝大会」を合わせ、700人程度となっています。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大会自体が中止となりました。

◆図表 2-6 スポーツボランティアの参加状況

イベント・大会名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
安城シティマラソン	497	0	0
安城市民デンパーク駅伝大会	197	0	0

資料：スポーツ課

### (4) スポーツ推進委員

57名のスポーツ推進委員が活動しており、地域での様々なスポーツ活動を通じて、市民の体力向上及び健康増進に寄与しています。

主な活動として、ニュースポーツやボッチャなどの体験やスポーツの基礎を指導するスクールなどを実施する「市民地域スポーツ交流会」や「地域スポーツ振興事業」の企画・運営とともに、年2回発行の「マイスポーツ安城」の作成を行っています。

#### ■市民地域スポーツ交流会（ミニテニススクール）



## (5) 市スポーツ施設の利用状況

主なスポーツ施設の全体の利用者数は、近年、各施設の改修工事や新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。

◆図表 2-7 市スポーツ施設の利用状況

(人)

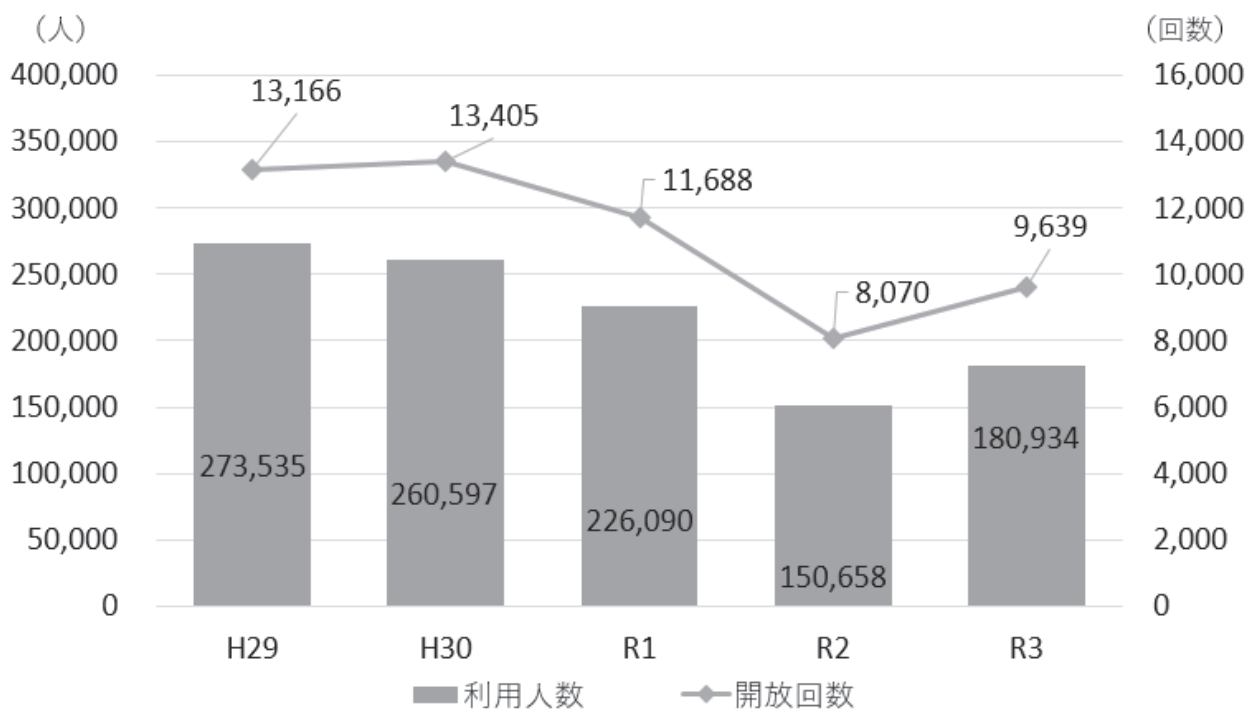
施設名		令和元年度	令和2年度	令和3年度
屋内施設	東祥アリーナ安城(市体育館)	221,401	115,543	139,183
	レジャープール	173,282	105,969	164,916
	スポーツセンター	70,013	64,256	107,988
	学校施設	226,090	150,658	180,934
屋外施設	陸上競技場	57,618	3,973	40,026
	野球場	28,333	18,811	38,694
	テニスコート	97,152	74,164	81,497
	多目的グラウンド	39,148	30,609	34,445
	デンソーブライトペガサスタジアム(市ソフトボール場)	32,270	22,267	33,307
	和泉公園	20,585	17,946	25,698
	西部グラウンドゴルフ	6,361	8,168	8,014
	秋葉公園テニスコート	2,757	12,603	17,736
野外センター	茶臼山野外センター	499	0	662
	作手野外センター	1,271	0	281
合計		976,780	624,967	873,381

資料：スポーツ課

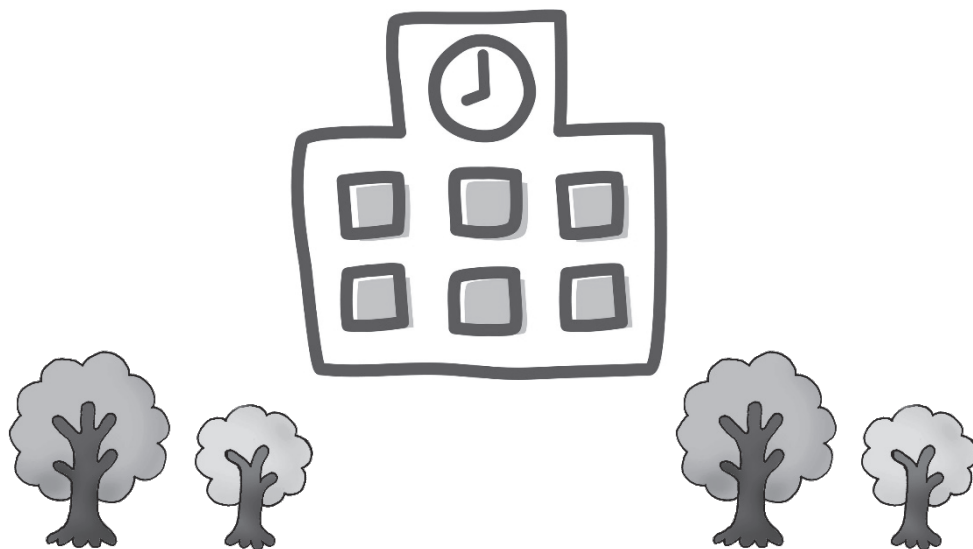
## (6) 学校施設開放の状況

身近なスポーツ施設として、市内の小中学校と県立学校の計34校において、学校施設開放を行っています。学校施設開放の利用者数は、近年学校体育館の耐震工事や新型コロナウイルス感染症などの影響により、利用人数と開放回数は減少しています。

◆図表 2-8 学校施設開放の状況



資料：スポーツ課

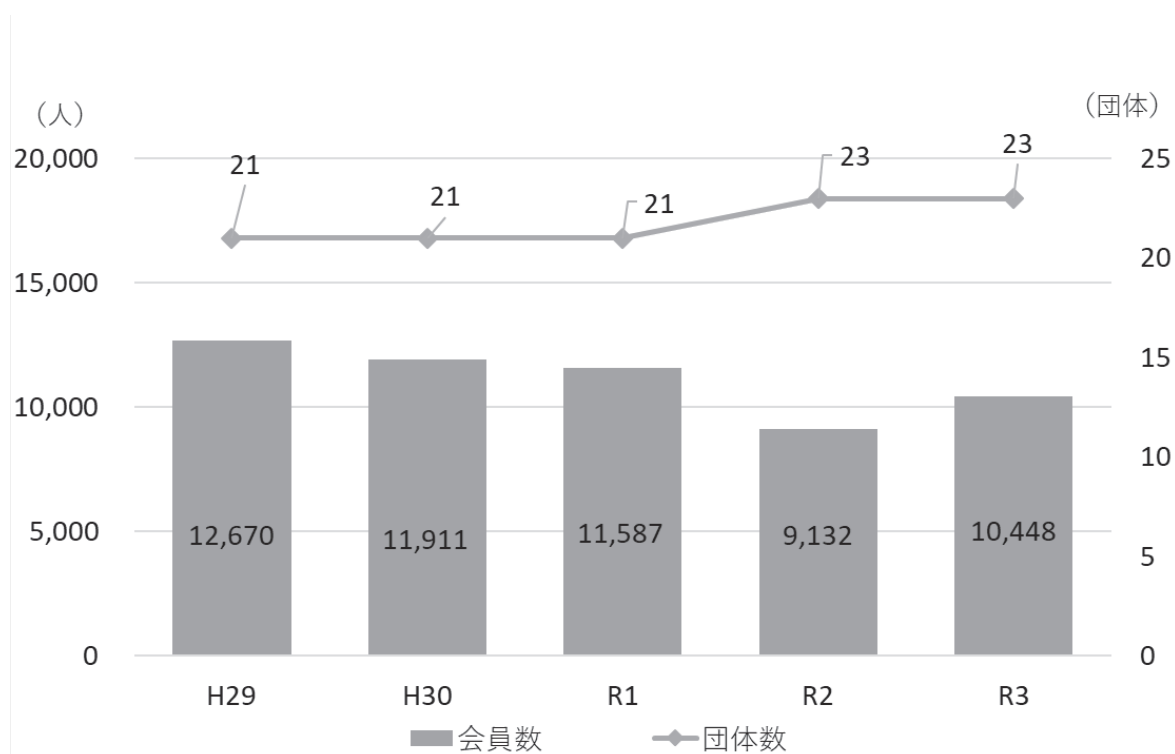


## (7) 公益財団法人安城市スポーツ協会の状況

平成19年11月にNPO法人となった安城市体育協会は、昭和23年に創設以来、加盟団体の競技力の向上、団体相互の交流・親睦を図るとともに、市民の健全な心身の発達のため、スポーツの普及・振興に寄与してきました。今後も、本市におけるスポーツ活動の中心的な役割を担うとともに、時代とともに変化するニーズに対応するため、組織の強化が望まれており、調査・研究を行っています。

なお、令和3年度末でのNPO法人安城市体育協会の解散に伴い、令和4年4月に公益財団法人安城市スポーツ協会が設立されました。同協会の加盟団体数は令和2年度以降、23団体となっています。

◆図表 2-9 公益財団法人安城市スポーツ協会の状況



資料：スポーツ課

## (8) 総合型地域スポーツクラブの状況

市内には、平成20年11月に東山中学校区で発足した「ANJO ほく部みんスポクラブ」、平成24年3月に横山町で発足した「NPO法人ふぁみりースポーツステーション」、平成26年4月に本市を拠点として発足した「NPO法人JOANスポーツクラブ」の3つの総合型地域スポーツクラブがあり、地域の活力向上と健康増進のためのスポーツイベントなどの企画・運営を行っています。

### 3 スポーツ振興に向けた主な課題

#### (1) 「する」スポーツについて

##### 【スポーツの実施状況について】

- “週に1日以上” スポーツ・運動をしていると回答した人は42.4%で、平成25年度調査時の43.1%と比べて大きな差は見られません。30歳代は“週に1日以上” スポーツ・運動をしていると回答した割合が他の年代に比べて最も少なく、仕事などにより体を動かす時間的な余裕が少ないことが要因の一つとして考えられ、仕事や家事を行いながらでもスポーツがしやすい環境づくりや機会の充実が必要となっています。
- 現在行っているスポーツ・運動について、「ウォーキング、散歩」「筋力トレーニング」「ジョギング、ランニング、マラソン」が多く回答されており、気軽に一人でも行えるスポーツの実施率が高くなっています。スポーツ・運動を行っている理由については、「健康を保持・増進するため」が最も多く回答されており、健康づくりの手段としてスポーツや運動を捉えている市民が多いことがうかがわれます。また、普段のスポーツ・運動をする場所については、「自宅の近所の道路や空き地など」や「自宅」が多く回答されており、新型コロナウイルスの影響で普段のスポーツ・運動をする場所にも変化があることが予想されます。そのような傾向を踏まえ、様々なニーズに対応したスポーツ機会の充実が必要となっています。

##### 【子どもの体力・運動能力の状況について（令和3年度スポーツ庁調査による）】

- スポーツ庁の「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、近年の子どもの体力・運動能力の低下について、デジタル化などによる生活環境の変化にコロナ禍の影響で拍車がかかったと考えられています。スクリーンタイム（テレビ、スマートフォン、ゲーム機などによる映像の視聴時間）を減らして少しでもその時間をスポーツに振り向けってもらうために、スポーツに取り組む機会の充実、スポーツをはじめのきっかけづくりなどに努めていくことが必要となっています。

##### 【スポーツに関する情報の発信について】

- スポーツの意義や効果についての啓発に努めるとともに、各種事業、施設、スポーツ団体及び指導者などの紹介といった様々なスポーツ情報の積極的な発信を行っていくことが必要となっています。情報発信方法として望ましいツールについては、「広報あんじょう」「町内会回覧板」「市公式ウェブサイトや特設ウェブサイト」と、既存の方法が多く回答されています。特に20歳代では、インスタグラムをはじめとするSNS関係の回答が他の年代に比べて多くしており、今後、若い世代への情報提供を見越してSNSなどの新しいツールを利活用していくことも必要となっています。



### 【中学校部活動の運営支援について】

- 国の方針に基づき、休日の学校での運動部活動を令和5年度から段階的に地域での社会体育に移行していくための支援が求められています。

## (2) 「みる」スポーツについて

---

### 【スポーツの観戦状況について】

- スポーツを観ることで、知識向上や素晴らしさを知り、スポーツへの参加・活動につながれるよう、スポーツ観戦の機会の創出が必要となっています。
- スポーツ観戦（テレビ観戦は含めない）について、「観戦した」の回答は2割程度となっており、平成25年度調査に比べ減少しています。新型コロナウイルスの影響により、市民の外出の自粛に加え、試合等の中止や無観客での開催など、スポーツを観る機会そのものが減っていることが考えられます。また、スポーツ観戦を始めたきっかけについて、「家族や友人が出場している」「家族や友人からの誘い」が多く回答されていることから、身近な人物がスポーツと関わりがあったことでスポーツ観戦を始めたという回答が多くなっています。

### 【「みる」スポーツへの関心の高まりについて】

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を通じてスポーツへの関心が「高まった」と回答した人の中で、「みる」スポーツへの関心が高まったと回答した人が約7割となっており、ハイレベルな試合の開催支援などを通じて、市民のスポーツに対する関心の高まりを継続させていくことが必要となっています。

## (3) 「おしえる」スポーツについて

---

### 【スポーツ指導における問題について】

- スポーツ・運動の指導における問題について、「施設や場所が不足している」が平成25年度調査と同様に最も多く回答されており、次いで「参加者が少ない」、「指導者仲間・組織が不足している」となっています。スポーツ・運動をするための場所の確保や指導者の育成を含めた指導環境の整備に加え、気軽に参加できるようにするなど、指導者の負担軽減ややりがいの向上を図ることが必要となっています。
- スポーツ指導者の資格保有率は低い状況であり、指導を行う上で自身が抱えている問題についても、平成25年度調査と同様、「指導の時間が十分に取れない」、「指導する上での技術に不安がある」、「指導する上での知識に不安がある」が多く回答されています。将来、スポーツ・運動を行おうとする時の問題と同様に、時間的な余裕が不足していることが大きな課題として考えられます。また、指導をする上での自身の知識や技術に不安を感じている人も多いことから、各スポーツ・運動に関する指導者講習等の実施も必要となっています。

- スポーツ指導者の派遣要望に対応するためには、指導者資格保有者の活動機会の拡大を図り、質の高いスポーツ機会の提供につなげていくことが必要となっています。

#### (4) 「ささえる」スポーツについて

---

##### 【スポーツ推進委員について】

- 地域におけるスポーツ振興の主役はスポーツ推進委員であり、その認知度向上が必要となっています。

##### 【スポーツボランティアの状況について】

- 本市のスポーツボランティアの実施率は、スポーツ庁の調査結果よりも低くなっているため、市の主催事業での、ボランティアの活用を積極的に進めていくことが必要となっています。
- 今後のスポーツボランティアの意向について、「したい」の回答が2割程度となっています。スポーツボランティアの参加意向自体はあることがうかがえ、現在スポーツボランティアをしていないが今後してもよいと考えている方々に対し、スポーツボランティアに関わっていただくための方策が必要となっています。

##### 【中学校部活動の運営支援について】

- 国の方針に基づき、休日の学校での運動部活動を令和5年度から段階的に地域での社会体育に移行していくための支援が求められています。

#### (5) スポーツ施設環境について

---

##### 【一般的な施設の状況について】

- 普段のスポーツ・運動をする場所について、平成25年度調査と比較すると、新型コロナウイルス感染拡大の影響からか、「自宅の近所の道路や空き地」「自宅」の割合が増加していることから、身近な場所でスポーツができる環境の充実が必要となっています。
- 市民ニーズ、費用対効果など、様々な条件を総合的に勘案しながら、今後のスポーツ施設の整備や設備の充実を進めていくことが必要となっています。
- 総合運動公園内スポーツ施設の利用満足度では、平成25年度調査と比較すると全体的に満足度が向上しているものの、「土、日曜日の利用」「予約・要望受付などの相談体制」がまだまだ低く、施設・設備の充実や利用調整による分散に努めるなど、利用しやすい環境を整え、満足度を高めることが必要となっています。

##### 【学校開放施設の状況について】

- 学校施設開放の利用についての周知を図るとともに、学校行事などに支障の出ない範囲で、開放日の拡大のための調整が必要となっています。

## (6) スポーツ団体について

---

### 【市スポーツ協会について】

- 公益財団法人安城市スポーツ協会は、スポーツ団体の中心的存在として組織の強化とともに、スポーツ振興のための各種事業の充実が必要であり、その支援を進めていくことが必要となっています。

### 【その他各種団体について】

- 総合型地域スポーツクラブは、身近な場所でスポーツに親しめる拠点として、認知度向上のための情報発信など、支援を行っていくことが必要となっています。
- スポーツ団体の主体的な活動の支援を行っていくことが必要となっています。

## (7) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催後における取り組みについて

---

### 【「みる」スポーツへの関心の高まりについて】

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を通じてスポーツへの関心が「高まった」と回答した人の中で、「みる」スポーツへの関心が高まったと回答した人が約7割となっており、ハイレベルな試合の開催支援などを通じて、市民のスポーツに対する関心の高まりを継続させていくことが必要となっています。

### 【今後望まれる市の取組について】

- 東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されたことを踏まえ、市が今後取り組んでいくことが望ましいことについて、「幅広い世代におけるスポーツの普及・拡大に向けた環境の整備」や「地元ゆかりの選手や、カナダ国をはじめとした外国人選手との交流活動」が多く回答されており、今後もこのような取組を続けていくことが望まれています。
- 第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）が開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことについて、「地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）」、「地元（安城市）出身の選手の育成」が多く回答されています。アジア競技大会が名古屋市をはじめ近隣市において開催されることを踏まえ、本市内での機運を高めていけるように様々な取組を推進していくことが必要となっています。